

逗子市議会議員

さぎさか ゆうじ 活動レポート Vol.39

～無所属で活動中～



■さぎさか ゆうじ(匂坂祐二) プロフィール■

1970年2月14日生まれ A型 50歳 逗子市沼間1-8-2

略歴：沼間小卒業・逗子中卒業・私立横浜商工高等学校卒業（有）匂坂畳店入社
逗子葉山青年会議所理事長・逗子市商工会青年部長・逗子葉山建設組合青年部長
沼間小PTA会長・逗子中PTA会長・市PTA連絡協議会会長・県PTA執行役員

家族構成：妻と長女(大学生) 次女(高校生) 長男(中学生)

議会職歴：総務常任委員長、教育民生常任委員長、議会運営委員長

基地対策特別委員長 現在 三期目 副議長 所属会派 市政クラブ

令和2年第3回定例会報告

第3回定例会が9月3日～30日に行われました。今定例会では、令和元年度逗子市一般会計及び4特別会計歳入歳出決算の認定の議案が上程され、可決（認定）されました。その他の主な議案は、新型コロナウイルス感染症対策関連の令和2年度の一般会計補正予算（可決）を含む議案11件（すべて可決）、その他に意見書案、決議案、陳情が審議されました。

[令和元年度 決算状況]

健全な財政運営の原則である収支の均衡及び財政構造の弾力性についての比率の推移

財務比率の推移

	実質収支比率	経常収支比率	公債費比率	財政力指数
令和元年度	10.8%	97.1%	8.5%	0.866
平成30年度	9.0%	92.5%	8.2%	0.871
平成29年度	6.8%	97.7%	9.4%	0.871

実質収支比率：標準財政規模に対する割合。一般的には3～5%が望ましいとされている。

経常収支比率：経常一般財源に対する経常的経費の割合。

一般的には70～80%が望ましいとされている。

公債費比率：経常一般財源に占める公債費の一般財源所要額の比率。

一般的には10%以内が望ましいとされている。

財政力指数：財政上の能力を示す指数。この指数が1を超えるほど財源に余裕がある。

歳入では、自主財源の構成比が上がり、市税は前年比1億円の増収、繰越金も前年比2億7千万円の増になりました。一方の歳出も1.9%の伸びでありましたが、投資的経費の削減等により全体としては少ない幅となりました。結果、実質収支額が前年度より18.1%の増となりました。退職者が多数であったための人件費等の支出増から経常収支比率は92.5%から97.1%と上昇し公債費率も0.3%上昇しました。財政プログラムの歳出削減によって危機的状況を脱することができましたが、これからも厳しい財政状況は続くと考えます。持続可能な財政基盤を構築し、市民が安心して暮らすことができるまちづくりを目指していきます。

コロナ対策～地域経済の活性化～

●ずし応援券事業

[目的]

市内在住者の生活支援及び市内消費の活性化

[概要]

市民ひとりに2,000円(500円券×4枚)

[利用期間]

令和2年11月10日頃～令和3年2月28日

●ずし応援プレミアム付商品券事業

[目的]

落ち込んだ地域経済の回復及び発展

[概要]

市内の参加店舗で使用できる、1部1万円で購入すると1万3千円分(500円券26枚)を受け取れる。(1人10部まで)

[利用期間]

令和2年11月10日頃～令和3年2月28日

[販売方法]

市内店舗、逗子市商工会、逗子市役所等での販売

インフルエンザ予防接種 65歳以上自己負担なし

季節性インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行による医療現場の負担増大が懸念されることから、県が高齢者のインフルエンザ予防接種費用に対し、定額補助することになり、市では、この補助事業に対応し、**定期接種対象者が自己負担なし**で予防接種が受けられるようになります。

危険崖地対策～防災工事助成の拡充

昨今の土砂災害を受け、令和2年2～3月に緑地法面緊急点検を実施しました。民有地については、土地所有者への積極的な対応を促すために、防災工事助成の拡充をします。

これまでは、工事費 1/2 (上限 80万円)
改正後は、工事費 1/2 (上限200万円)

その他に、崖崩れ・土砂災害の対策として、今定例会において、逗子市みどり基金条例の一部を改正し、緑地の所有者である逗子市が管理伐採を行うにあたって、その費用を基金から充当できるようになりました。緊急点検により、早急に対応が必要な箇所(39箇所)について、倒木との被害を最小限に抑えるため、道路に隣接している市が所有する法面の高木や支障木の伐採及び枝払い等を10月から順次実施していく予定です。市民の安全を最優先に緊急的な災害防止対策として、重要な事業と捉えています。

PCR検査費用の一部を助成

感染症予防事業として、新型コロナウイルス感染症について、症状がなく自由診療でPCR検査を受けた方に対し、費用の一部を助成します。感染に対する不安を持つ人への支援と、感染予防を図る目的です。

自由診療により全額自費でPCR検査を受けた方に対し、1人1回あたり5,000円を上限に(年度内1人2回まで)助成。

皆様の声を聞かせて下さい。
市政に対するご意見、ご要望をお待ちしています。

御名前

御住所

連絡先